



2022 年 10 月 28 日

各 位

上 場 会 社 名 四国電力株式会社
代 表 者 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介
(コード番号 9507、東証プライム市場)
問 合 せ 先 経理部 管理グループリーダー 松尾 寛
(TEL 087-821-5061)

個別業績予想の前期実績値との差異に関するお知らせ

2023 年 3 月期通期の個別業績予想について、前期実績値との間に重要な差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 個別業績予想の前期実績値との差異について

2023 年 3 月期通期個別業績予想数値(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A)	百万円 524,028	百万円 △ 40,187	百万円 △ 29,047	百万円 △ 13,048	円 銭 △ 62.93
今 回 予 想 (B)	715,000	△ 75,000	△ 55,000	△ 43,000	△ 207.00
増 減 額 (B - A)	190,972	△ 34,813	△ 25,953	△ 29,952	△ 144.07
増 減 率 (%)	36.4	—	—	—	—

2. 前期実績値との差異が生じた理由

売上高は、燃料費調整額や卸販売収入の増などにより、前年度に比べ、1,909 億円増加の 7,150 億円と予想しています。

利益については、燃料価格の高騰等に伴い需給関連収支が悪化することなどから、前年度に比べ、営業利益は 348 億円悪化の△750 億円、経常利益は 259 億円悪化の△550 億円、当期純利益は 299 億円悪化の△430 億円と予想しています。

なお、燃料価格高騰に伴い、燃料費調整額の算定諸元となる平均燃料価格が、燃料費調整の上限価格（＝基準燃料価格の 1.5 倍）を超えていることに伴う通期の料金回収不足額（＝当社負担額）は 500 億円程度と予想しています。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上